

第5学年1組 国語科 学習指導案

単元名：海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
教材文「手塚治虫」

男子 16 名 女子 16 名 計 32 名

指導者 田村 純子

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年、「C読むこと」の指導事項（1）「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」と、「B書くこと」の指導事項（1）「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、学習指導要領の「C読むこと」の言語活動例（2）「ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。」と「B書くこと」の言語活動例（2）「ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。」を基に日本人初の金メダリスト「世界人『織田幹雄』」を効果的に紹介するために、クイズによる問いと答えや解説（豆知識）にまとめる言語活動を位置付ける。クイズを作り、その解答に対しての解説文を作成するために、複数の本や資料を比べて読み、自分の考えを広げたり深めたりする力、自分の考えを明確に表現するために文章を構成して書く力を身に付けることをねらいとしている。また、作成したクイズを海田町で行われる行事などで発信するという場を設定をし、目的をもたせることで、自分達の書いた文章を多くの人と交流することの楽しさや喜びを感じさせることができると考える。

○ 児童観

本学級の児童は、広島県「基礎・基本」定着状況調査の「書くこと」の領域において、情報を関連付けたり、取り出したりして理由や事例を挙げる問題の通過率は、43.7%（県 32.8%）であった。この結果から、情報を整理し、理由を基に自分の考えを相手に分かりやすく伝える力が十分でないことが明らかとなった。1学期に行った「立場を決めて討論しよう」の単元でも、自分の立場を主張する理由や根拠を付箋に書き出し、整理する学習において、目的や意図に応じて、複数の資料から必要な情報を取り出したり、多面的に考え、情報を整理したりして論理的に表現することに課題があることが明確になった。また、文章の構成を考えながら要旨をまとめる「筆者の考えをまとめて伝え合おう」の学習では、筆者の述べたいことの大体は理解できるが、全体の構成を考えながら情報を整理し、要旨をまとめていくことに抵抗感を感じている児童が多かった。

○ 指導観

織田幹雄は、海田町出身の日本人初の金メダリストであり、町内の至るところに織田幹雄の偉業を示すものがある。これまでの2年間、児童は紹介文をパネルにして公共施設に展示したり、作成したリーフレットを「ふるさと館」などの町内の公共施設で配布したりして、多くの人々に織田幹雄の生き方や考え方を紹介することができた。これらの取組を伝えることで、児童には今年度もこれまでの先輩の学習を引き継ぐという本校の特色ある学びの継承を意識付ける。言語活動としては、織田幹雄の生き方や考え方について学んだことを誰もが参加したくなるクイズとして構成し、海田町の行事で

発表することで聞き手と交流するという場の設定を行い、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。織田幹雄について書かれた文章については、織田幹雄に関する書籍や、これまでの児童の紹介文やリーフレット等の複数の資料を扱い、さまざまな角度から織田幹雄の生き方や考え方について読み取り、自分の考えをもたせる。複数の資料から必要な情報を取り出し、整理する力を付けるためには、織田幹雄の生き方や考え方に大きく影響を与えた出来事や出会い、困難や挫折について、思考ツールである「お魚ボーン図」に整理させながら、影響を与えた事柄の詳細や理由を整理しながら考えさせる。クイズづくりでは、「問い」、「答え（事実）」、事実の詳細と自分の考えである「解説文（豆知識）」という全体の構成を軸に、織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるための構成をモデル文を基に分析し、構成メモにまとめさせる。

教材文「手塚治虫」は、読解のための共通教材として扱い、伝記の表現方法を学んだり、人物の生き方や考え方について読み取り、考えを交流したりすることにねらいを置き、「織田幹雄」を題材とした学習へ生かすこととする。

単元の目標及び内容について

- 資料を基に、人物の生き方や考え方について考えたことを多くの人に伝わるよう紹介しようとする。【関心・意欲・態度】
- 資料を読んで、人物の生き方や考え方から考えたことを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【読むこと オ】
- 人物の生き方や考え方を紹介する解説文（豆知識）を書くために、複数の資料や本を選んで比べて読むことができる。【読むこと カ】
- 人物の生き方や考え方を効果的に伝えるために、事実と自分の考えを明確に分けた解説文（豆知識）の構成を工夫することができる。【書くこと イ】
- 人物を紹介するために効果的な言葉の使い方を意識しながら文章を読んだり書いたりすることができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 海田町出身の日本人初の金メダリスト「世界人『織田幹雄』」を紹介するクイズを作成する。			
資料を読み、人物の生き方や考え方について考えたことが、多くの人に伝わるよう解説文（豆知識）で紹介しようとしている。	資料を読み、人物の生き方や考え方から考えたことを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 人物の生き方や考え方について考えるために、複数の資料を読んだり、人物の年表と関連付けながら資料を読んだりしている。	人物の生き方や考え方を効果的に伝えるために、事実と自分の考えを明確に分けた解説文（豆知識）の構成を考えている。	人物を紹介するために効果的な言葉の使い方を意識しながら文章を読んだり書いたりしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・クイズづくりに向けて、集めた情報を整理したり、さらに必要な情報を集めたりして、より深く織田幹雄の生き方や考え方について探究し、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	・クイズづくりに向けて、必要な情報を集め、織田幹雄の生き方や考え方を探究し、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
【思考力】	・織田幹雄の生き方や考え方を織田幹雄のあゆみと複数の情報とを関連付け、多面的にとらえている。 ・聞き手を意識して織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるための「解説文（豆知識）」の構成を考え、理由（思い）や根拠を明確にする表現の工夫を考えている。	・織田幹雄の生き方や考え方を、織田幹雄のあゆみと関連付け、多面的にとらえている。 ・聞き手に織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるための「解説文（豆知識）」の構成を工夫している。
【自己理解】	・織田幹雄の生き方を自分の経験と重ねながら考えることを通して、より深く自己を見つめたり、人々に学んだことを紹介することの楽しさや喜びを通して、自己の成長に気付き、次の学習へ学びをつなげようとしている。	・織田幹雄の生き方を自分の経験と重ねながら考えることを通して、より深く自己を見つめ、人々に学んだことを紹介することの楽しさや喜びに気付いている。

指導と評価の計画

全 15 時間

次	時	学習内容	評 価					
			関	読	書	言	評価規準	評価方法
		道徳の時間 ○道徳の時間において、資料「強いものは美しいー日本人初の金メダリスト 織田幹雄ー」【価値項目1ー(2)】の学習を行い、織田幹雄の思いに共感する。						
一	1	課題の設定(2) ○海田町出身の日本人初の金メダリスト織田幹雄について関心を高める。 ・織田幹雄について知っていることを出し合い、これからの学習でどのようなことを紹介すればよいか内容を考える。 ・昨年度の学習を引き継ぎ、より多くの人々に海田町出身の「世界人『織田幹雄』」を紹介する方法を考え、クイズにまとめて多くの人に紹介していくという本単元の学習課題を立てる。	○				・織田幹雄の伝記の学習について関心をもち、主体的に紹介する内容や方法を考えようとしている。	行動観察 ノート
	2	○学習の見通しを立てる。 ・教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方や考え方を紹介するために必要な観点（人物のあゆみ、生き方に大きく影響を与えた出来事、効果的な表現方法）について考える。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	○				・人物の生き方や考え方を紹介するために必要な観点を理解し、単元で付けたい力について考えようとしている。	発言 ノート
二	3	情報の収集(3) ○人物のあゆみを年表にまとめる。 ・教材文「手塚治虫」を時系列で読んで年表にまとめる。		○			・教材文を読んで、書かれている大まかな出来事をとらえ、年表にまとめている。	発言 年表

次	時	学習内容	評 価					
			関	読	書	言	評価規準	評価方法
二	4 ・ 5	○人物のあゆみを年表にまとめる。 ・複数の資料を読み、織田幹雄のあゆみを年表にまとめる。 ・完成した年表をもとに、それぞれの出来事に関連付けながら、織田幹雄の生き方をいくつかの時代に分ける。		○			・複数の資料を読んで、書かれている出来事をとらえ、年表にまとめ、出来事に関連付けながらいくつかの時代に分けている。	発言 行動観察 年表
	6	整理・分析（5） ○共通教材の教材文「手塚治虫」を基にして、読んだことから人物の生き方や考え方について考える。 ・教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、取り組んでいく上での困難や挫折、選択を迫られる岐路などの出来事について、クイズ作りを通して考える。		○			・年表をもとに、人物の生き方に大きく影響を与える出来事・人との出会いなどを人物のあゆみと関連付けながら考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	7	・織田幹雄に関する資料や年表を基に、織田幹雄の生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、困難や挫折、選択を迫られる岐路などの出来事について「お魚ボン図」を用いながら考える。		○			・年表を基に、織田幹雄の生き方に大きく影響を与える出来事・人との出会いなどをあゆみと関連付けながら考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	8	○織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるための「問い」を考える。 ・伝えたい事柄で「問い」を作り、織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えられる「解説文」につながる「問い」かどうか検討する。 【本時】			○		・伝えたい事柄から、読み手の関心を喚起させる「問い」と「解説文」の内容を考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	9	○織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝える「解説文」について考える。 ・「問い」と「答え」を基に、生き方や考え方を明確に表現する「解説文（豆知識）」の内容（構成）を考え、構成メモを書く。			○		・生き方や考え方を明確に表現する「解説文（豆知識）」の構成を考えて、構成メモを書いている。	行動観察 ワークシート
	10	○伝記には、人物を紹介するために効果的な表現方法があることをとらえ、解説文を書く。 ・複数の資料を読んで、伝記には人物を紹介するために効果的な表現方法があることをとらえる。				○	・人物を紹介するために効果的な言葉の使い方を意識しながら文章を書いている。	発言 行動観察
	11 ・ 12 ・ 13	まとめ・創造・表現（3） ○「世界人『織田幹雄』」のクイズを完成させる。 ・複数の情報を関連付けたり多面的にとらえたりした構成になっているか考えながら解説文（豆知識）等を書き、班で交流し合う。 ・班で交流したことをもとに豆知識の内容や問い等を推敲する。 ・推敲したクイズを完成させる。			○		・織田幹雄の生き方や考え方を効果的に表現し、全体の構成の効果を考えながら、織田幹雄のクイズを作成している。	発言 行動観察 ワークシート

織田幹雄の資料の並行読書

次	時	学習内容	評 価					
			関	読	書	言	評価規準	評価方法
三	14	実行（１） ○完成した「世界人『織田幹雄』」のクイズを出題する。 ・学級ごとでクイズを出し合い、多様な解説の仕方やクイズのよさを見付ける。	○				・聞き手の興味を引くような構成や表現の工夫に着目しながら作品を読もうとしている。	発言 行動観察
		・昨年度学習している6年生にクイズを出題し、感想をもらう。 ・海田町で行われる行事でクイズを出題し、参加者に織田幹雄を紹介しながら交流する。						
四	15	振り返り（１） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・「世界人『織田幹雄』」のクイズを作ることを通して、考えたことを話し合い、自己の見方や考え方の高まりに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。	○				・人物の生き方や考え方を通して学んだことなど自分のものの見方や考え方の変容や自らの学びや学び方を振り返ろうとしている。	発言 行動観察 <small>学びのモニタリング</small>

本時の学習

（１）本時の目標

- 伝えたい事柄で「問い」を作り、織田幹雄の生き方や考え方を解説文で効果的に伝えられる「問い」かどうか検討することができる。

（２）本時の評価規準

- 伝えたい事柄から、織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えることのできる「問い」と「解説文」の内容を考えている。

【書く能力】

（３）本時の学習展開（８時間目／全 15 時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。	◇織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるためのクイズを考えることを確認する。	
めあて		
クイズづくりに向けて、織田幹雄の生き方や考え方が伝わる「問い」を作ろう。		
本時のゴールの見通し A：織田幹雄の生き方や考え方を複数の情報から多面的にとらえ、伝えたい事柄を聞き手の関心を喚起させる「問い」や「解説文」で表現している。 B：織田幹雄の生き方や考え方を多面的にとらえ、効果的に伝える「問い」や「解説文」で表現している。		

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>2 織田幹雄の年表や「お魚ボーン図」を基に、生き方や考え方が効果的に伝わる「問い」と「答え」を考える。</p> <p>○陸上との関わり，人との出会い，困難や挫折など，生き方や考え方を明確に表している出来事から，自分が伝えたい事柄をクイズにしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 関連付ける</p> <p>「お魚ボーン図」を基に，陸上との関わり，人との出会い，困難や挫折などの出来事と織田幹雄の生き方や考え方を関連付けて，自分が伝えたい事柄を考えさせる。</p> </div> <p>陸上との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校時代の遊び ・様々な種目に挑戦 ・記録ノート ・歌舞伎，推理小説 ・世界各国の大会に出場 ・新聞記者 ・日本オリンピック委員 <p>人との出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島一中へ進学 ・野口源三郎先生との出会い ・陸上の道へ ・世界人の考えを <p>困難や挫折</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者がいない ・陸上の環境がない ・怪我 ・限界説 ・ロサンゼルスオリンピック惨敗 <p>3 班で交流する。</p> <p>○織田幹雄の生き方や考え方が効果的に伝えられる「問い」になっているか，班で交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬校長とどんな約束をしたでしょう。(心の強さ，切り拓く，実行力，努力) ・どんな本をたくさん読んだでしょう。(観察眼，推理，英語での読解力，心の動き) ・東京オリンピックの際に交流サロンを積極的に開いたのはなぜでしょう。(世界人，指導者，交流，スポーツの発展) 	<p>◇児童が常に織田幹雄の生き方や考え方について振り返ることができるように，作成した年表は教室に掲示し環境を整えておく。</p> <p>◆見付けにくい児童には，一番心に残っている出来事から，「問い」を考えるように指示する。</p> <p>◇「問い」と「答え」を考える際に，解説(豆知識)で表現したい出来事や言葉を一緒に記入できるワークシートを使用させる。</p> <p>◇「問い」と「答え」を班で交流させ，織田幹雄の生き方や考え方が効果的に伝えられる「問い」になっているか検討させる。</p> <p>◇「解説文(豆知識)」の構成を意識させながら，検討させる。</p> <p>◆聞き手の関心を喚起させることができるかという視点で交流させる。</p>	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>4 全体で話し合う。</p> <p>○班のイチオシの「問い」では、どのような「解説文」の内容を入れることができるか考えてみましょう。</p>	<p>◇班のイチオシの「問い」を紹介し合い、出てきた「問い」のよさを次のような観点で評価する。</p> <p>〔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報 ・意外性 ・具体的な事実 <p>◆出てきたイチオシの「問い」から1問選び、どんな解説文が書けそうか内容を考えを出させ、次時の学習へつなげる。</p>	<p>◎織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えることのできる「問い」と「解説文」の内容を考えている。〔書く能力〕(発言・行動観察・ノート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>問い・・・「初めての全国大会に出場するために、広瀬校長先生とどんな約束をしたでしょう。」</p> <p>答え・・・「絶対、優勝します！」</p> <p>織田幹雄の心の強さや、実行力を豆知識で伝えることができます。何事にも限界まで挑戦し、それを楽しいと感じる心の強い人だということを伝えたいです。</p>		
<p>5 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>◇話し合ったことを基に、織田幹雄の生き方や考え方が伝わるクイズか再度練り直し、「解説文(豆知識)」にまとめていくという次時の学習につなげる。</p>	

(4) 板書計画

まとめ

・織田幹雄の、約束を果たすために何事も限界まで挑戦し、それを楽しいと感じる心の強さを豆知識で伝えられる「問い」ができました。

海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
「手塚治虫」

めあて
クイズづくりに向けて、織田幹雄の生き方や考え方が伝わる「問い」を作ろう。

	解説文(豆知識)		問い
自分の考え	解説	答え	問い

・複数の情報・意外・具体的

- どんな本をよく読んでいたでしょう。
- なぜ、たくさんの種目に挑戦していたのでしょうか。
- なぜ「世界人」と言われるようになったのでしょうか。
- オリンピックには、何回出場したでしょう。

陸上とかかわり

- 校長先生とどんな約束をしたでしょう。
- 陸上を始めるきっかけとなった人はだれでしょう。
- 「世界人」という考えを教えたのは誰でしょう。

人との出会い

- 限界と言われてもなぜ復活できたでしょう。
- オリンピックへ向かう船上でしたことは？

困難やざせつ

問い

B 豆知識で伝えられる

+

A ひ聞き手の関心を

<参考> 「学びのモニタリング」

学びのモニタリング

海田町に息づく

「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
「Introduction」

五年 組 番 ()

主体性

○クイズで紹介するために、必要な情報を集めたり、
生き方や考え方を考えたりしようとした。

- 4 とてもよくできた
- 3 よくできた
- 2 あまりできなかった
- 1 できなかった

理由

思考力

○織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるための
クイズを考えることができた。

- 4 とてもよくできた
- 3 よくできた
- 2 あまりできなかった
- 1 できなかった

理由

自己理解

○織田幹雄の生き方や考え方を自分の経験と重ねて
考え、これからの自分の生き方に生かそうとすることが
できた。

- 4 とてもよくできた
- 3 よくできた
- 2 あまりできなかった
- 1 できなかった

理由

学び方を振り返って

成長したこと

課題だと思ふことや次の目標